

おわりに

本研究所の聴覚障害教育研究班では、これまで聴覚障害児童生徒の教科指導の充実に資するため、教材の保有と活用に関する調査・研究を進めてきました。

この度、聴覚障害教育における国語科指導において、継承・共有すべき専門性として、教材の在り方や考え方と効果的な活用について、調査結果並びに授業実践を通して明らかにしてきました。本研究で得られた成果を特別支援学校（聴覚障害）を始め、聴覚障害教育に関わる関係の皆様にも早くお伝えしたいとの思いから、本研究成果報告書を刊行いたしました。

本研究を進めるにあたり、研究協議会での話題提供、各校での授業研究会の開催など、多大なご協力をいただきました研究協力機関の群馬県立聾学校、千葉県立千葉聾学校の皆様に感謝申し上げます。

また、研究協力者として研究協議会や授業研究会でのご助言やご講演をいただきました広島大学大学院の谷本忠明先生に感謝申し上げます。

本研究は、専門研究Bにつなげるための準備的予備的研究として、当初の目的であった実際の授業（単元）を通しての教材の在り方や考え方、効果的活用について知見を得ることができました。今後、国語科に加え、他教科、自立活動も視野に入れた研究を進めていきたいと考えております。

（研究代表者 庄司美千代）